資料

共同体育館整備に係る
論点整理と方向性について

京都府文化施設政策監

1　第1回共同体育館に係る意見聴取会議での主な意見

大学利用の視点

- 大学にとって大規模空間をどう活かすかという視点で考えていくべき。例えば、大学の卒業式や講演会、学会などでも使えるとよいのではないか。
- 京都は学生の街なので、例えばeスポーツの会場や練習場所として活用の可能性があるのでは。
- クラブボックスは府大の伝統的なものとしてＯＢから残してほしいという意見があり、残置するか、移転して建て直す場合でも現在の雰囲気は残してほしい。

スポーツ利用の視点

- 府の体育施設数は全国でも低水準。大規模な体育館がなく、国際大会や全国大会などの開催ができていない。
- 大学スポーツの大会や国際大会の誘致もできる施設とすれば、学生にとってもプラスになるのではないか。
- ライブビューイングのような観戦形態が発展しつつあり、複数の施設をネットワークで繋げられるようになっていくので、大きなアリーナがどこまで必要かの検討も必要。

防災の視点

- 新たに体育館を整備するなら、備蓄庫もあるとよい。
- スポーツの大規模大会では多くの諸室が必要であり、そうすることで、災害時にも体調不良の方などのために部屋として利用できる。

地域貢献の視点

- 複数の幼稚園、保育所、小中高校で使えるような施設に。
- アリーナの収益化には難しい点もあり、非貨幣価値等を重視する考え方も出てきているので、例えば地域貢献等の観点で成果を指標化し、公共負担とすることも考えられる。
- 体育館単体ではなく、府大・北山エリア・京都市・京都府がどうあるべきかという視点で考える必要がある。

交通アクセスの視点

- 北山エリアは交通至便地であり、皆が集まりやすいことは大きな利点。

インクルーシブの視点

- 障害がある人も無い人も使いやすい施設となるよう、更衣室やスロープなどの付帯施設を考えるべき。
- インクルーシブな施設にするためには、幅広い層から意見を聴くなど、プロセスもインクルーシブにする必要がある。特に将来世代からも意見を聴いてほしい。(プロセスと共通)

環境の視点

- 建設前の段階で、環境面で国際的なスタンダードを意識して進めてほしい。
- ＳＤＧｓの配慮は、施設利用者の環境意識を高める運営など、ハード面だけでなくソフト面での対応も考えられる。

プロセスの視点

- どのような建物が建つのか、学生や教職員が感じている不安を払拭するための説明が必要であり、イメージ図や模型等を示しながら意見を聴いていくことが重要。

（建物イメージを仮想空間内に３Ｄで可視化し、設計段階から意見を集める手法もある。）

２ 地元学区や周辺施設との意見交換の状況

■意見交換の概要（令和４年１１月７日時点）

地元自治会等 ６学区、幼稚園・保育園等 １５園、福祉施設等 １０施設、小学校・中学校・高等学校１０校、
幼稚園保護者ワークショップなど

＜共同体育館整備に係るコメント＞

【利用者の観点】

・府民全体の健康増進を目的とした体育館になってほしい。
・一般の人が参加できるスポーツ教室があると嬉しい。
・大学の体育館は、学生を最優先にしてほしい。
・夏や冬は体育館で運動するのも厳しいため、冷暖房設備を使わせてほしい。
・プロスポーツを子どもたちが身近に観られる環境があるとよい。

【地域の観点】

・共同体育館を地域の人も使えるようになるとありがたい。
・広い体育館の面積により年齢層を超えた活動が一体的にできるので、大学生と地域住民や子どもたちが屋内スポーツ等活動を通じて様々な交流が生まれる。
・アリーナの広さを活かして避難所機能を強化し、地域住民の安心安全も担保してほしい。
・工事期間中の安全対策等に留意してほしい。

【周辺環境との調和に係る観点】

・植物園でゆっくり過ごしたり、周辺施設で催し物や飲食などを楽しんだり、1日中過ごせるような場所になってほしい。
・植物園を削らずに造れるのであれば、アリーナもできるとよい。
・大きなイベントをするなら人や車の動線を考える必要がある。

※北山エリアの環境と調和を図るため、車両の交通予測や歩行者等の安全対策などに係る調査検討を別途実施

⇒ **<u>今後も引き続き、ワークショップなどにより幅広い府民や学生から意見聴取を実施予定</u>**

3　これまでの意見を踏まえた論点整理

＜委員意見＞
・学会や講演会等でも使用できるのではないか。
・館内の大きなスペースを活用する研究ニーズもあるのではないか。

大学の教育・研究機能の向上

＜委員意見＞
・これまで京都に誘致できなかった国際大会も可能となるような施設にできないか。
・学生スポーツの大会では会場の確保に苦慮している。

大学スポーツ等の拠点形成

＜委員意見＞
・学生が優先的に活動できることが重要
・文化部の活動場所にも配慮が必要

大学体育館としての利用

＜委員意見＞
・幼稚園、保育所、小中高校でも使えるとよい。
・生涯スポーツでの活動場所が不足している。
・地域の防災拠点としての活用が考えられる。

周辺環境との調和と
地域住民の利便性の向上

＜委員意見＞
・障害がある人も無い人も使いやすい施設となるよう、更衣室やスロープなどの付帯施設を考えるべき。
・多様な人の共生という観点から、若い世代を含めて幅広く意見を伺うことが重要。

誰もが使いやすい体育館

（いずれにも関連する視点として、環境への配慮や民間活力の導入等についても検討が必要）

4　求められる機能と整備・運営に関する基本的な考え方

論点整理を踏まえ、共同体育館の機能等に関する基本的な考え方を検討する。

（関連する委員意見）

大学体育館としての利用

- 学生意見や現状の利用実態を踏まえた施設を整備するべきではないか。
- 学生とその他の利用を両立させるためにどのような運営を行うべきか。

まずは学生たちが優先的に部活動をしたり、授業を受講できることが重要

大学の教育・研究機能の向上

- 教育・研究のためのスペースとして大学間の連携にも資する施設が整備できないか。
- 授業・課外活動以外に教育・研究で活用する場合、どのような機能が必要か。

館内の大きなスペースを活用する研究ニーズもあるのではないか

大学スポーツ等の拠点形成

- 京都府では公共の体育館が少なく、できるだけ多くの府民が利用できる施設を整備するべきではないか。
- 京都府におけるスポーツを取り巻く環境を踏まえ、共同体育館を整備することで貢献できる分野・内容はどのようなものか。

学生スポーツの大会では会場の確保に苦慮している

周辺環境との調和と地域住民の利便性の向上

- 施設の一般開放や防災機能など、地域のニーズを反映した整備が必要ではないか。
- 府民・近隣住民の安全・安心に資する構造・機能が求められるのではないか。

地域の防災拠点として非常時停電時における近隣住民のエネルギーの確保が重要

誰もが使いやすい体育館

- 高齢者や子ども、障害のある方など全ての人が安全に等しく利用できる（誰もがアクセスできる）環境を整えるべきではないか。

障害がある人も無い人も使いやすい施設となるよう、更衣室やスロープなどの付帯施設を考えるべき

（参考1）京都における体育施設の現状について

京都府における公共体育館の整備状況　**全国３８位**　※**競技用床面積**が1,300㎡以上の施設
（平成30年度スポーツ庁体育・スポーツ施設現況調査）

京都府内における客席数1000席以上の公立体育館一覧

施設名	所在地市町村	固定席数（席）	最大収容人数（人）	稼働率
島津アリーナ京都（京都府立体育館）第１競技場	京都市北区	5016	約8000	93.2%（H30）
京都市体育館	京都市右京区	2500	7500	72.2%（H30）
京都府立山城総合運動公園『太陽が丘』体育館	宇治市	1472	不明	
向日市民体育館大体育室	向日市	1500	3853	
三段池公園総合体育館（大競技場）	福知山市	1216	不明	
舞鶴文化公園体育館	舞鶴市	1024	約1500	

（参考2）大会開催に係る各種基準等について

各種屋内スポーツの国際大会等を開催する場合の施設要件

競技種目	大会等	要件		
		競技面	天井高さ	観客席
バレー	世界選手権	31m×19m（ﾌﾘｰｿﾞｰﾝ含む）	12.5m以上	15,000席以上
	世界選手権予選			5,000席以上
	Vリーグ（S1）			3,500席以上
	Vリーグ（S2）			1,500席以上
	Vリーグ（S3）			750席以上
バスケ	世界選手権（男子）	28m×15m	7m以上	15,000席以上
	世界選手権（女子） 世界選手権予選（男子） ｵﾘﾝﾋﾟｯｸ最終予選（男子）			8,000席以上
	Bリーグ（B1）			5,000席以上
	世界選手権予選（女子） ｵﾘﾝﾋﾟｯｸ最終予選（女子） ユース世界選手権			4,000席以上
	Bリーグ（B2）			3,000席以上
バドミントン		13.4m×6.1m	12m以上	
卓球	Tリーグ（プレーオフ）	14m×7m	3m以上	5,000～10,000席
	Tリーグ（ﾚｷﾞｭﾗｰｼｰｽﾞﾝ）			2,000～3,000席
ハンドボール	世界大会決勝	40m×20m	7m以上	15,000席以上
体操	世界大会	12m×12m（床マット）		6,000席以上

府内における過去10年間の国際大会の開催状況（屋内スポーツ）

平成25年　バレーボールWorld Grand Champions Cup 2013（島津アリーナ）
平成26年　バスケットボール男子日本代表国際親善試合2014（京都市体育館）
平成26･27年　FIVBワールドグランプリ2014・2015 男子バレーボール大会（島津アリーナ）
平成28年　FIVBワールドグランプリ2016 女子バレーボール大会（島津アリーナ）
令和２年　バスケットボール男子東京2020 オリンピック日本代表国際強化試合（島津アリーナ）
令和２年～　FIVBバレーボール男子ネーションズリーグ2020･2021（島津アリーナ）
} コロナにより中止

（参考3）府立大学体育館の利用状況について

用途	概要（内訳等）	
授業	・府大授業　毎週水曜午後１コマ（前期・後期） ・医大授業　毎週木曜午後１コマ（前期・後期）　※医学科	
学校行事 （約10日）	入学式	前後の準備・撤収や新入生ガイダンス等含め約3日利用
	卒業式	前後の準備・撤収等含め約3日利用
	流木祭（学園祭）その他	流木祭（前夜祭含む）で約3日利用
課外活動	平日の夕方以降及び休日の終日を利用	
利用不能日 （約20日）	年末年始	（12/29～1/3）　6日
	入試試験	・大学院入試（夏期・冬期）　８日 ・学校推薦型選抜試験　２日 （・大学入学共通テスト　４日） ・一般選抜試験（前期・後期）　４日

（参考4）府立大学体育館 課外活動使用状況

（令和４年９月）

月	日	曜	行事等	第１体育館 9–10	10–11	11–12	12–13	13–14	14–15	15–16	16–17	17–18	18–19	19–20
9	12	月									バド	バド	バド	バド
	13	火		バレー	バレー	バレー	バド	バド	バド					
	14	水			バド	バド	バド							
	15	木					バレー	バレー	バレー			バド	バド	バド
	16	金						バド	バド	バド	バド			
	17	土		バレー	バレー	バレー	バド	バド	バド					
	18	日		バレー	バレー	バレー	バレー	バレー	バレー	バレー	バレー			
	19	月	敬老の日											
	20	火		バレー	バレー	バレー	バド	バド	バド					
	21	水			バド	バド	バド							
	22	木	学位授与式				バレー	バレー	バレー					
	23	金	秋分の日											
	24	土		バド	バド	バド							バレー	バレー
	25	日		バレー	バレー	バレー	バレー	バレー	バレー	バレー	バレー			
	26	月									バド	バド	バド	バド
	27	火		バレー	バレー	バレー	バド	バド	バド	バド	バド			
	28	水			バド	バド	バド	バスケ	バスケ	バスケ				
	29	木								フット	フット	バド	バド	バド
	30	金	夏期休業 終	バレー	バレー	バレー		バド	バド	バド				

（令和４年１０月）

月	日	曜	行事等	第１体育館 9–10	10–11	11–12	12–13	13–14	14–15	15–16	16–17	17–18	18–19	19–20
10	1	土					バレー	バレー	バレー	バド	バド	バド		
	2	日		バレー	バレー	バレー	バレー	バレー	バレー	バレー	バレー			
	3	月	後期授業 始									フット	フット	フット
	4	火										バレー	バレー	バレー
	5	水										バスケ	バスケ	
	6	木								バド	バド	バド	バド	
	7	金										バレー	バレー	バレー
	8	土		バレー	バレー	バレー	バド	バド	バド					
	9	日		バレー	バレー	バレー	バレー	バレー	バレー					
	10	月	スポーツの日											
	11	火	振替授業日									バレー	バレー	バレー
	12	水										バスケ	バスケ	
	13	木								バド	バド	バド	バド	バド
	14	金												
	15	土		バド	バド	バド				フット	フット	バレー	バレー	バレー
	16	日		バレー	バレー	バレー	バレー	バレー	バレー					
	17	月										フット	フット	フット
	18	火										バレー	バレー	バレー
	19	水										バスケ	バスケ	
	20	木								バド	バド	バド	バド	バド
	21	金								バド	バド	バド	バド	バド
	22	土	補講日				バレー	バレー	バレー					
	23	日		バレー	バレー	バレー	バレー	バレー	バレー					
	24	月										フット	フット	フット
	25	火										バレー	バレー	バレー
	26	水										バスケ	バスケ	
	27	木								バド	バド	バド	バド	バド
	28	金										バレー	バレー	バレー
	29	土		バド	バド	バド	バド	バド	バド	バド				
	30	日		バド	バド	バド								
	31	月										フット	フット	フット

（参考5）事業手法の検討

共同体育館の整備に当たり、整備・運営等をより効率的かつ効果的に実施するため、民間資金の活用による整備・運営などを含め、最適な事業手法等の検討を行う。

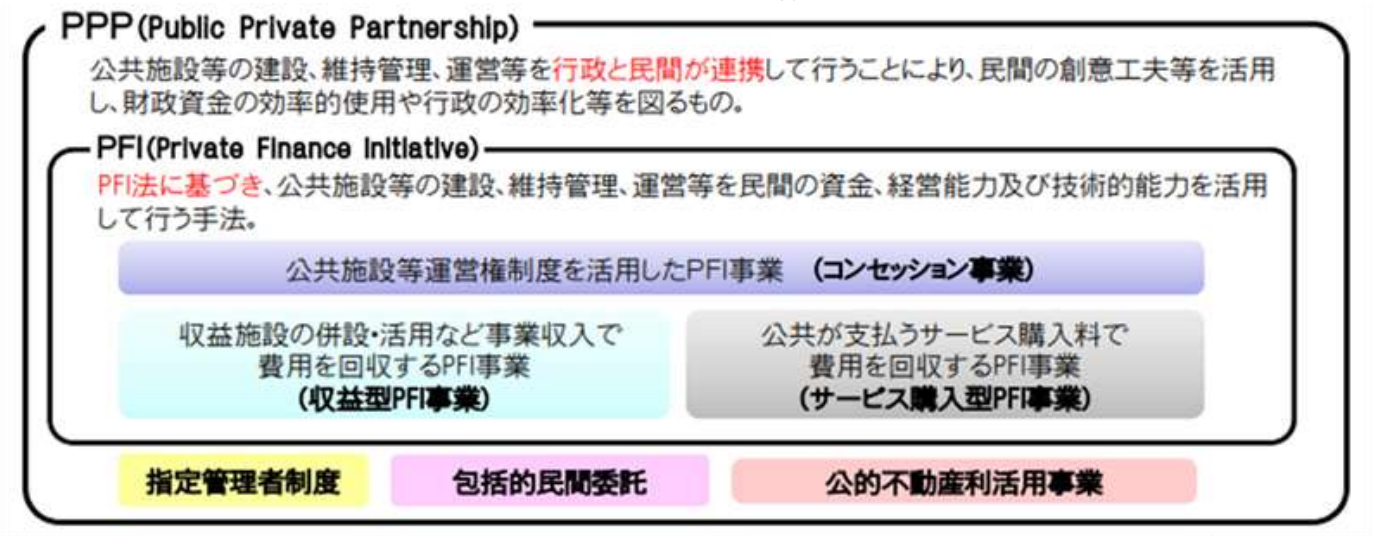
民間ノウハウの活用により、多用途利用を効率よく行うことで地域貢献が期待できる一方で、学生利用が大前提であることから、授業や課外活動等に十分配慮した上で事業手法を選定する必要がある。

（参考）ＰＰＰ／ＰＦＩ

・公共施設の建設・維持管理・運営などをより効果的（サービスの向上等）かつ効率的（財政負担の抑制等）に実施するために公共と民間が役割分担をしながら実施する手法

・民間事業者に一定のルールや整備・運営等の水準を遵守いただくために、しっかりとした要求水準書や契約書の作成、官民の役割分担の明確化、事業者の倒産リスクにも配慮した仕組みづくり、事業開始後のモニタリングなどが重要

ＰＰＰ／ＰＦＩの概念図



（国土交通省ホームページより引用）